

人権に関する作文・絵画(小中学生の部)入選作品

すべての市民の基本的な人権が尊重され、差別のない明るく住みよい町の実現に向けて、人権に関する標語、絵画、作文を募集しました。その中から、入選作品を随時紹介します。(学年は令和3年度のものです。)



吉川小学校 6年 竹原 暁音



光風台小学校 6年 進藤 晴仁

三上さんの話を聞いて

光風台小学校 4年 田中 葉々子

四年生は一学期、三上さんのお話を聞きました。三上さんは、視覚にしようがいのある方です。

三上さんは、その当日、つえ一本だけで、一人で電車に乗って来たと言っていて、わたしは、一人で怖くなかったかなあと思いました。わたしは、しつ問タイムに、「生活の中で、一番こわいことは何ですか。」と、聞きました。そしたら、三上さんは、プラットホームにいる時だと言っていました。それなのに、今日、一人で電車に乗って来てくれたので、わたしは、すごく三上さんに感しゃしました。しかも、目の見えない人にかつやくする、べんりグッズまで持って来て見せてくれました。だから、三上さんは、わたし達のために、このようなものを持って来てくれて、やさしい人だなあと思いました。三上さんがしようかいしてくれたべんりグッズは、全部べんりだったけど、わたしが一番べんりだと思ったのは、点字をうつ機械です。この機械は、調べたいことを点字でうちます。すると、調べた答えが、また点字で出てくるので、目の見えない人にとっては、すごくべんりだと思いました。

クラスのだけれが、「目の見える人に、してもらいたいことは何ですか。」と、しつ問していて、三上さんは、プラットホームなどで、みんなが電車に乗ったとか、みんなが電車からおりたとかを教えてほしいと言っていたので、わたしは、目の見えない人に出会ったら、三上さんが言っていたようなことをしようと思しました。

三上さんの話を聞いて、はじめは、「目の見えない人は、大変なんだなあ。」と、思ったけど、「目の見えない人は大変だから、自分ができるところをしないと。」と考えが変わりました。目の見えない人と出会って、もし、だんさがあるなら、「だんさが変わりますよ。」などの声かけをしたいと思います。また、この学習をきっかけに、他のしようがいのある人のくらしを調べたり、考えたりしたいと思います。

町の木/スギ



町の花/タンポポ



町の鳥/ウグイス



町の面積

34.34km²

	人口	男	女	世帯数	
人4.5月末日	18658人	8908人	9750人	8683世帯	
人の動き	前月比	-40人	-22人	-18人	-12世帯
	人口前月比の内訳	転入等	転出等	出生	死亡
		33人	57人	5人	21人